

### ★『群馬県教育ビジョン』について★



『群馬県教育ビジョン』とは、別名『第4期群馬県教育振興基本計画』と呼ばれるもので、『2024年4月～2029年3月の5年間』におよぶ本県における『教育の振興に関する基本的な計画』であり、群馬県の教育分野における『最上位計画』です。

その『最上位目標』は『自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会へ向けて — ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成 —』と設定されています。

また、『群馬県教育ビジョン』では、子どものみならず全ての県民を『学習者』と位置づけ、人が誰しも生まれつき持っている、『自分と社会をより良くしようと願う意志や原動力（エージェンシー）』を発揮して、自らの意思と選択で自ら学びをつくり、実際の行動に移せるようになるような教育を目指して、群馬県の教育の振興のための基本的な方向性を定めています。

変化が激しく、将来の予測が困難な現在の社会においては、一人一人が『主体性』を持ち、『自ら考え、判断し、責任をもって行動していく必要』があります。左のパンフレットのスローガンも『自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す』とあります。どれもどこかで聞いたことがあるようなコトバですね。そうです、SAHでおなじみの表現ばかりなのです！

SAHでは、生徒の『エージェンシー（自分と社会をより良くしようと願う意志、原動力）を重視し、「自ら考え、判断し、行動できる生徒」を育成することを目的としています。』とうたっていますから、内容は完全に一致しているといっても過言ではありません！

ということは、前南での教育活動は『群馬県』が目指していることそのものであり、『みなさんは群馬県の教育の「最上位目標」に日々挑戦している』と言ってもよいかもかもしれません。

しかし、正確な『メタ認知』が必要です。『自律した学習者』になるためにはまだまだ鍛錬が必要でしょうし、また、『自分がいる環境や、社会をよりよくする』ためにもやるべきことはたくさんあります。『情けは人の為ならず』というコトバの正しい意味を周りの人と確認しながら、日々仲間とともに『協働』しながら成長していきましょう！（文責：教頭 星野 亨）



— これからの時代を生きていく私たちに必要なこと —

**自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す**

人は、誰しも、生まれついて自分と社会をより良くしようと願う意志や原動力を持っている。

- 一人一人が、自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す「自律した学習者」であること
- 子どもと大人が、お互いを主体として認め合い、協力しながら社会を作っていくこと
- 地域と、学校と、家庭が、協力して学びの場を作り、共に学び続けていくこと

**現状の課題**

- 私たちの（子どもたちの）主体性や社会参画への意識が弱いとされるのは何故か？
- 良かれとの思いから、失敗しないように先回りして与えすぎる教育が、生まれつき持っていた自ら成長する力（エージェンシー）を損なっていたのではないか？
- これまで以上に先行きが不透明とされる時代に必要な力は、どんなものなのか？

#### ★校長より★

webから見られる「群馬県教育ビジョン」のリーフレットには表紙に「試行錯誤しよう。失敗してもいいのだと知ろう。それが自分を強くしてくれるよ。」という言葉があります。新しい事に挑戦しようとするとき、必ずしも成功できるとは限りません。失敗することもあります。しかし、外から見たときには失敗でも、一生懸命取り組んだ人には必ずその中に発見があり、次の挑戦への材料となるものがあります。皆さんには失敗を極端に恐れることなく「主体的な考え・判断・行動」に挑戦し「強さ」を身に付けていって欲しいと思います。

校長 原 拓史